

インフラの整備、人材の育成、世界目線の持続的な産業振興の仕組みを沖縄に作りたい。



鶴保 庸介 × 高良 健

つるほ ようすけ

参議院議員。内閣府特命大臣（沖縄及び北方対策、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策）
1998年、第18回参議院議員通常選挙において、当時最年少の31歳で初当選。以後4度の当選を重ね、2016年8月より現職。

たから たけし

医療法人陽心会理事長。鶴保庸介沖縄後援会会長
1974年、群馬大学医学部卒業。同大学附属病院、琉球大学医学部附属病院勤務を経て、88年に医療法人陽心会大道中央病院を設立。現在に至る。

今回は、昨年8月に沖縄担当の大臣に就任した参議院議員の鶴保庸介氏に、沖縄の抱える課題やその解決策についてお話しいただきました。インタビュー

ーを務めたのは、鶴保庸介沖縄後援会の高良健会長。

鶴保大臣の沖縄振興にかける熱い思いが伝わってきますよ。

何を置いてもまずは経済

高良 鶴保大臣は昨年8月から沖縄を含む内閣府特命大臣に就任されていますが、沖縄の印象はいかがでしょう。

鶴保 大臣就任以降、沖縄の方々とは懇談する機会もぐっと増えました。まず何といっても皆さん性格が穏やかで、争いを好まない人が多いという印象を受けております。せかせかと忙しい東京から沖縄を訪れると、その思いをいっそう強くしますね。その半面、これは私の選挙区である和歌山県にも同じことがいえるのですが、自分たちの地域を良くするためにもっと自ら行動を起こすことが重要だと感じています。沖縄県民の方が多い、控え目な性格も影響しているのかもしれないですね。県民一人ひとりが「自分たちの故郷を自分たちで良くしていくんだ」という気概を持ち、行動を起こしてほしいという思いも持っています。

高良 確かに沖縄には控えめな方が多いですね。温暖で恵まれた環境の中で、争いごとを好まない県民性が育まれたのかもしれない。ところで、沖縄は経済をはじめ、医療福祉などさまざまな問題を抱えています。その点についてどうお感じになりますか。

鶴保 何を置いてもまずは経済でしょう。経

ますが、意欲のある若者や子どものスキルアップを応援するためにも、これとは別の「沖縄型奨学金制度」を設けられないか現在検討しているところです。加えて、学業に触れやすくするための子どもの居場所の増設や、高速ネット回線を使った離島での通信教育・遠隔授業の導入（今年の夏には社会実験も行う予定など）に向けても力を注いでいます。これらの環境を整えることで、人材育成を図り「貧困の連鎖」を断ち切りたいと考えています。

深刻な渋滞対策が急務

高良 先ほども少し触れておりましたが、鶴保大臣は沖縄の慢性化した交通渋滞の対策にも熱心に取り組んでいらつしやいますね。

鶴保 深刻な渋滞への対策は急務です。交差点改良や道路網の整備などのインフラ整備はもちろん、公共交通機関の利便性向上、海路・空路のより充実した路線設定、レンタカー利用の効率化など、できるものから今まさに実行に移しているところです。他にも那覇空港第二滑走路の整備やクルーズ船受け入れのための港湾整備、観光客数増大に向けた「沖縄版観光アクションプログラム」の策定、防犯カメラの設置による防犯体制の強化など、長期的に県発展の礎となるような環境づくりに向けても取り組んでいきたいと思っています。先般、南城市でバスの自動運転実証実験を行いました。一般のバス車両を使った本格的な実験としては全国初で、今後は離島にも拡大していく予定です。沖縄県に限らず、全国の過疎地においても有力な公共交通機関のひとつにな

る可能性を大いに秘めているため、今後の技術的な進歩にも大いに期待しています。

後援会を活動の原動力に

高良 さる3月30日に私が発起人となった「鶴保庸介沖縄後援会」の設立に向けた準備委員会が開かれ、正式に後援会が発足することになりました。この会は、政治的信条や経済的なつながりに縛られることなく、沖縄の地理的ならびに文化歴史的特長を踏まえた包括的な振興を目指すものです。役員にはそのような価値観を共有できる「品格ある」有志が集まっていたのだと思っています。

鶴保 沖縄には基地問題を巡ってさまざまな「対立」が存在していることは紛れもない事実です。しかし、そのような対立を乗り越えて「自分たちの故郷を良くしたい」という純粋な思いのもと参集される方々のご意見を伺いながら、さまざまな活動の原動力にしていきたいと思っています。

高良 最後に、県民への期待や要望、メッセージなどがあれば。

鶴保 沖縄県が持つ地理的、文化的潜在能力はまさに日本随一です。アジアの結節点としての地理的特性があり、独特の文化が観光資源となつて人を呼び込む。交流人口が増え、情報が集積した先にはいろんな視野が広がってくるでしょう。しかもその舞台は世界です。このチャンスを最大限に活かすため、インフラ整備だけでなく、人材の育成、世界目線の産業が持続的に振興するような仕組みを作りたいと思います。しかし、このことは国や行政が一方的に与えて達成できるものではありません。県民の一



鶴保庸介沖縄後援会準備会＝3月30日

人ひとりが知恵を絞り、行動し、時には失敗もしながら経験値を積み、結果を出していく。そんな繰り返しの中からひとつひとつ達成されていくものではないでしょうか。われわれはその舞台を作るお手伝いをするに過ぎません。日本全国が憧れるような要素を持つ沖縄だからこそ、翻弄されてきた歴史もあります。そのことに目を背けてはなりません。振興という分野ではもう一歩踏み出していきたい。宿題を、要望をいただきながら、国もそれを最大限サポートする。さまざまな模索を続けてこそ、本当の意味の沖縄の振興があるのだと思っています。

高良 鶴保大臣におかれましては、ぜひとも沖縄ファンになつていただき、沖縄の発展と繁栄につながるような活動をしていただきたいとお思います。本日はお忙しい中ありがとうございます。

鶴保 こちらこそありがとうございました。

大道中央病院 那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代) リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050 メディカルプラザ大道中央 那覇市字大道123 TEL.098-886-0007(代) 一般内科部門 TEL.098-886-0115 循環器部門 TEL.098-886-5141 糖尿病部門 TEL.098-886-0115 人工透析部門 TEL.098-886-5151 検診部門 TEL.098-886-0078 介護老人保健施設 やすらぎの里 那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030 グループホーム たかまーみの家 那覇市字大道94-3 TEL.098-887-0081 小規模多機能型ホーム 大道 那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018 グループホーム 大道が丘 那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036 小規模多機能型ホーム 三原 那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027	医療法人 陽心会 理事長 高良 健 那覇市地域包括支援センター 若狭 那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165 (提携)福祉用具貸与・販売事業所 那覇市字大道128 TEL.098-885-0100 (提携)有料老人ホーム 健寿の杜 那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070 (提携)有料老人ホーム 松風邸 那覇市辻2-10-14 TEL.098-869-8557 (提携)ヒルズガーデン那覇 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-885-0300 (提携)デイサービスセンター 松川 那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300	社会福祉法人 陽風会 (提携)デイサービスセンター 若狭海岸 那覇市若狭1-21-1 TEL.098-941-0110 (提携)デイサービスセンター 大道 那覇市字大道127 TEL.098-886-0066 (提携)有料老人ホーム 大道中央 那覇市字大道127 TEL.098-886-0061 (提携)デイサービスセンター 若狭 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122 (提携)有料老人ホーム 若狭 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087 (提携)有料老人ホーム 若狭別館 那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320	(提携)小規模多機能型ホーム 若狭 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550 (提携)グループホーム 若狭の家 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551 (提携)小規模多機能型ホーム 辻 那覇市辻1-6-25 TEL.098-951-0070 (提携)在宅総合ケアセンター 大道 那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030 訪問介護事業所 那覇市字大道128 TEL.098-885-0033 ケアハウス 常夏の島 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036 小規模多機能型ホーム 牧志 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025 那覇市末吉老人福祉センター 那覇市首里末吉町2-14 TEL.098-886-3510 那覇市壺川老人福祉センター 那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139 那覇市辻老人憩の家 那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580
---	--	--	---

済指標が相当上向いてきたとはいえ、所得や失業率などの指標においてはまだまだのところがたくさんあります。沖縄県に限ったことではありませんが、まずは成長を軌道に乗せ、皆さんが明るい将来像を描けるような社会にしていかなければなりません。これと関連し「貧困の連鎖」についても喫緊の課題だと考えています。沖縄県の出生率は全国で一番ですが、同時に離婚率も最も高く、シングルマザー世帯の出現率は全国平均の約2倍。非正規で働くシングルマザーから子どもへと、貧困が連鎖する例も数多く見られます。意欲のある若者や子どもたちが、経済的・地理的制約から自分の夢をあきらめざるを得ない、という悪循環を断ち切らねばなりません。そのほか渋滞対策や道路・空港・港湾などの社会資本整備、離島振興、観光振興、防犯対策などの課題も山積しています。できることから手をつけ、一歩でも二歩でも前に進めたいと思っています。

高良 なるほど。その解決には何が必要だとお考えですか。

鶴保 先に述べたように、県内に根強く横たわる「貧困の連鎖」を一刻も早く解消せねばなりません。今年度からは全都道府県を対象とした給付型奨学金の創設が決まってい